



金沢脳神経外科病院だより ふれあい

2009年
冬季号

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 浅ノ川
金沢脳神経外科病院 広報誌
第33号
発行所 メディア広報室
石川郡野々市町郷町262-2
TEL 076-246-5600
FAX 076-246-3914
URL : <http://www.incl.ne.jp/knouge/>

病院理念

脳神経外科専門病院として私達は患者の皆様に、より高度の医療技術を提供し、公平で平等な患者中心の医療を行います。

基本方針

1. 患者の皆様の権利と人間性を尊重した温かい医療の提供に努めます。
2. 地域の医療機関と連携を行い、患者の皆様が安心と満足の得られる医療の提供に努めます。
3. 脳神経外科専門病院として、地域の救急医療の提供に努めます。
4. 急性期から回復期リハビリ、慢性期の一貫した医療を提供します。
5. 患者の皆様に対して、適切な言葉と態度を心がけるよう努めます。
6. 患者の皆様のご意見、ご希望を医療に反映させるよう努めます。

患者さまの権利

私達は患者の皆様の権利を尊重し、信頼に基づいた医療を行うため、患者の皆様の権利に関する宣言を掲げます。

1. 適切で最善の医療を公平に受ける権利
2. 検査や治療について真実を知り、充分な説明を受ける権利
3. 検査や治療を受ける権利と受けることを拒否する権利
4. プライバシーの秘密保持を得る権利
5. 病院や医師を自由に選択し、あるいは変更する権利

病院長

M D 手術、新病院で
さらなるゴールを目指す

病院長 佐藤 秀次



平成14年11月に腰椎M D手術の第1例目を18歳の女子高校生に行つたのを皮切りに、その後6年間に1300例のM D手術を行つてきました。M D手術前には500例を超えれる腰椎の顕微鏡手術を経験していましたが、私にとってM D手術は、たどり着くべき必然的な手術であつたように思います。なぜなら、私の頭には、椎間板ヘルニアなどの痛みを取り除き、手術により新たな痛みを与えたり、残したりしないためには、筋肉など正常組織の損傷を最少限に食い止めなければならぬとの考えが育つっていたからです。小さ

な切開と最少の筋肉剥離によつて、術後の痛みは少なく、回復が速やかに進むことは、想像できることと思います。患者さんでなくとも容易に想像できると思います。患者さんから見て、身体的苦痛を伴わない手術、これが私の求める理想の手術であり、手術治療のゴールです。

ゴールはまだまだ先ではあります。ですが、人々の生活の質を大きく損なう椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症、変形性腰椎症、すべり症などは、「直すことのできる病気」との信念を持って、今後もその治療に取り組む所存です。

ちなみに、M D手術の第1例目が女子高校生であったのは、身体に目立つ傷跡を残すのは忍びないとこの心情からではあります。これからは、これからの手術治療にも美容的観点が必要と考



のニーズに対応できる病院をめざして

脊髓治療、回復期リハビリ治療や救急医療において
療のニーズに的確に対応できるよう、診療機能面
りました。

特色をセンター化



脳卒中センター



リハビリセンター

金沢脳神経外科病院

町に新築移転!!



になっても安心して生活できる地域を目指して…

バシーなどへの配慮

システムなど

イン
など)

込み



敷地・建物・病床数

- ◇敷地 約3500坪
(旧病院の2.3倍)
- ◇建物 約3950坪6階建
(旧病院の1.4倍)
- ◇病床数 220床
(一般:60床、回復期リハビリ:54床、療養:106床)

診療機能の充実



- ◇3つの特色をセンター化
 - ・脳卒中センター
 - ・脊椎センター
 - ・リハビリセンター
- ◇脳卒中の集中治療室(SCU)6床を9床に増床
- ◇リハビリセンターは病棟組み込み型に
- ◇外来診察室増(4室を6室に)
- ◇救急センターの充実(処置室、診察室、点滴室)

医療機器の整備・充実

◆MRIを2台 (3テスラ1台、1.5テスラ1台)

- ◇CTを1台更新
- ◇PACS(医療用画像ネットワークシステム)
の導入によるフィルムレス
(電子カルテシステムとの統合)

※予約なしで
当日撮影可能!!



21世紀医療における患者さまや地域

脳神経外科専門病院として、脳卒中治療、脊椎・て、患者さま及び地域のニーズや時代が求める医を重視した建物、設備、機器等の整備・充実を図

ドキュメント… 新病院移転

新病院に引越ししてから、3ヶ月がたとうとしています。ここで、引越しから開院までの道のりを振り返ってみましょう。

竣工修祓式 竣工祝賀会

200名を超えるお客様をお迎えし、厳粛な中にも和やかに式は執り行われました。



引越し

これほど大規模な引越しは誰もが初体験です。みなが不安を抱えつつも一致団結して、患者さんの搬送や荷物の梱包に当たりました。無事に患者さんの移送を終え、一安心しました。



外来予行演習

開院前日、翌日の外来診療開始がスムーズに行われるよう職員が模擬患者となり予行演習をしました。実際に、受付、予診、検査等を行い、不具合がないか入念に確認を行いました。予行演習後、佐藤病院長による院内の再確認も行われ、新病院での診療がスタートしました。



脊椎センター

脳卒

3つの特色 医療法人社団 浅ノ川 野々市町郷



24時間365日 脳卒中

患者さまの満足度、快適さ、プライバシー

- ◇外来診療における患者動線の短縮
- ◇待ち時間の有効利用のための患者呼出し
- ◇1階ロビーは病院を感じさせないデザイン（滝、カウンター、スリット天井、トイレなど）
- ◇コミュニティーバスの運行
(野々市町6回/日、白山市11回/日)

ホテルをイメージ !!

- ◇病棟の個室にはインターネット回線引き
- ◇各部屋にトイレを設置

患者さんセミナー

桑原留美子 様

私は長い間、腰痛と背中の痛みが持続し、ここ2年ぐらい前からは股関節の痛みが出現して歩行困難になり悩んでいました。病院は、何軒も回りました。（同じ病院で半年に1回撮ったことも…）それでも、どこの病院も決まって筋肉の衰え、軟骨の衰えという事で薬と注射だけでした、一向に良くなりません。

それで店のお客さんとか、業者の方、知り合いの人には「どこか良い病院はないか」と聞いたところ皆さんのが、こちらの病院を紹介されました。（腰痛＝脳神経外科は考へられませんでした）お客様の中に「死にたいと思うほど痛くてつらかった腰が今では嘘のように全然痛くなくなつたよ」「院長先生の腕は、北海道から沖縄まで知れていて、手術したらしいよ」と言つて言つたよ」「院長先生の腕は、本当に治るには、もう少しあほどの確かな腕だから安心して手術してもらいたいよ」と言つたよ」

手術の日ワクワク半分！本当に治るか？半分！期待と不安！！

そんな中手術は無事成功！でも

R I・レントゲンを何回も撮りました。（同じ病院で半年に1回撮ったことも…）それでも、どこの病院も決まって筋肉の衰え、軟骨の衰えという事で薬と注射だけでした、一向に良くなりません。

安は続くばかり（先生もちょっと不安げな顔でした）それで先生に、なんで治りが遅いのか聞いたから時間はかかるでしょう」と言つたから時間はかかる（周りの人からも言われたので…）2週間過ぎた頃から飲み薬が出始めたのですが、あまり変わらず3週間過ぎた頃から、少しづつ良くなってきたのが分かりました。（でも痺れ・痛みはあります）だけど手術前から比べると全然楽になりました。

完全に治るには、もう少しかかるとは思いますが「痛みが長かつた分、時間がかかる」先生はじめ誰からも言っていたので無理しないでやつていこうと思ひます、もう若くないので：何ヶ月も待つて手術を受けた人、これから受けれる人、皆さん楽に

かかりつけ医・救急隊員の合同による勉強会開催!

— 地域における脳卒中医療の向上をめざして —

昨年12月16日に救急隊員を対象とした定例の「救急症例検討会」と連携先のかかりつけ医の先生方を対象とした「地域連携セミナー」を合同で開催いたしました。今回は、救急隊員の方々をはじめ、近隣の開業医の先生方や地元の保健福祉センターの方々にも参加をいただきました。

はじめに、救急症例検討会として当院に救急搬送された3症例について、当院の医師と救急隊員との熱心な討議が行われました。

引き続き、当院の新病院移転を記念した特別講演として、川崎医科大学附属病院脳卒中医療教授である木村和美先生を講師にお迎えし、「プレホスピタルケア（病院搬送前救護）からはじまる脳卒中診療体制」と題してご講演いただきました。岡山県倉敷市では、木村先生が中心となり、最新の地域における脳卒中医療連携システムが構築されており、その脳卒中医療連携システムについて、時折ユニークな表現を交えながら、救急隊と地域のかかりつけ医との連携の重要性について、わかりやすくお話しされました。

当院職員を含め、参加された皆さんは脳卒中医療連携システムについて、熱心に耳を傾けていました。

当院では、新病院の S C U 機能（脳卒中集中治療室）を生かし、今後とも地域の救急医療に貢献するためにこのような機会を通じて、救急隊や地域の先生方と顔の見える連携体制を構築して行きたいと考えております。



なつて幸せになつて欲しいと思ひます。先生をはじめ、看護師さん達も元気でいい人達ばかりでした。病室のみなさんもいい人ばかりで私をみると「腰が曲がるよ」「まっすぐ伸ばして歩くように」「無理して早く歩かんと、ゆっくり歩かな駄目」などなど色々注意してくれました。おかげで真っすぐとは言わない

までも背中を伸ばして歩けるようになりました。それにおかんと、ゆっくり歩かん駄目」人がいたら金沢脳神経外科を進めようと思つています。約1ヶ月間ありがとうございました。

